

科目名	人間と科学（社会学Ⅱ）	英語科目名	Cultural Science II (Sociology)
開講年度・学期	平成28年度後期	対象学科・専攻・学年	5年全学科
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	1単位	単位種類	履修単位
担当教員	神谷悠介	居室（もしくは所属）	
電話	0285-20-2100	E-mail	tueno@oyama-ct.ac.jp（上野）
授業の到達目標	授業の到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
①家族をめぐってどのような問題が存在するのかを説明できる。	①	D	b
②家族社会学の主要概念を説明できる。	①	D	b
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
上記2点について、前期中間試験、前期末試験、後期中間試験、後期末試験、および授業内課題によって評価する。			
評価方法			
前期中間試験・前期末試験・後期中間試験・後期末試験を80%、授業内課題を20%で評価する。			
授業内容			
1. ガイダンス	授業の到達目標および基礎概念を確認する。		
2. 家族をめぐるとの諸問題	家族をジェンダー、多様性、階層などから考察する。		
3. ジェンダー——性別役割分業	家族における性別役割分業の問題を理解する。		
4. 家族における暴力	暴力の視点から家族をめぐるとの問題を理解する。		
5. 家族の多様性	家族の多様性を時代・社会などの次元から考察する。		
6. 階層と格差	階層と格差の視点から家族をめぐるとの問題を考察する。		
7. グローバリゼーションと家族1	グローバル化の中での国際結婚の変容を理解する。		
8. 中間試験	ここまでの内容を復習する。		
9. グローバリゼーションと家族2	外国人家事労働者に関する問題を理解する。		
10. 前近代の恋愛・結婚	上流階級における恋愛と結婚の分離を理解する。		
11. 近代の恋愛・結婚	ロマンティック・ラブが普及した背景を理解する。		
12. 現代の恋愛・結婚	「純粋な関係性」概念を理解する。		
13. 親密なパートナー関係の多様化	法律婚・事実婚・同性婚をめぐるとの問題を理解する。		
14. 多様な関係性への法的保障1	個人単位アプローチを理解する。		
15. 多様な関係性への法的保障2	親密性・ケア・生活の分節化アプローチを理解する。		
キーワード	家族、近代家族、ジェンダー、多様性、階層		
教科書	なし		
参考書	講義中に適宜紹介する。		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	政治・経済・国語・歴史・哲学・歴史学		
現学年の関連科目	人間と科学Ⅰ／Ⅱ		
次年度以降の関連科目	なし		
連絡事項			
シラバスの内容に変更があった場合には受講者に対して速やかに説明する。			
シラバス作成年月日	平成28年2月5日作成		